

お お な み
92号 こ な み

ウェーブ通信 (no.92)

2020年 04月号

Wave
NPO 法人
コミュニティ・
ネットワーク・ウェーブ



画：横構幸子さん「野辺の教会」

総会のご案内

理事長 佐光 正子

日頃より NPO 法人コミュニティ・ネットワーク・ウェブの活動をご支援いただき、心より感謝申し上げます。令和 2 年度の総会を下記のとおり開催いたしますので、正会員の方はご出席くださいますようお願いいたします。正会員でない方もご関心のある方はオブザーバー参加できますので、どうぞ気軽にお立ち寄りください。

NPO 法人コミュニティ・ネットワーク・ウェブ 令和 2 年度総会

日時：令和 2 年 6 月 14 日（日） 13：30～15：00

場所：ウェブ分室（世田谷区弦巻 2-39-11）

今年度は、地域福祉事業と相談援助事業の中身が少し変わる予定です。4 月から新しい活動が加わる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり準備が遅れています。総会の折には骨子が発表できるかと思いますので、是非ご意見をお聞かせください。

今年は、新型コロナウイルス感染症の流行という思いもかけない事態となり、今後の状況によっては総会の開催について変更があるかもしれません。その折は改めて会員の皆様にご連絡を差し上げます。

また、ここ数年の課題でもある活動メンバーの高齢化という問題に対し、若い方々（70 歳以下の方は若いのです）の参加を切に望んでいます。ご協力よろしく申し上げます。

こんなときこそ、 しんこきゅう～



私たちは今、これまでに経験したことのない体験をしています。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため外出が制限されているなか、世界的にDVが急増しているという報道もあり（P4～5参照）、過去の災害時の不安な気持ちを連想する方が多いかもしれません。また、こうした状況は戦争時にも重なる点が多くあります。日に日に広がる新型コロナウイルスのニュースに不安を募らせる方、感染の危険の中で仕事に従事されている方など、いろいろな状況の中で精一杯の努力をされていることと思います。

緊張や我慢が続くと、知らず知らずのうちに疲れがたまります。やる気が出ず、だるくてイライラしやすくなったりします。そんな時は、たくさん寝て、ちゃんと食べて、日常生活を大切にしてください。イライラや不安などの気持ちは誰かに聞いてもらいましょう。

そして、こんなときこそ、大きく深呼吸しましょう。息を吸う時は、宇宙のエネルギーをからだ一杯に満たし、息を吐く時は不安や痛みをすべて吐き出しましょう。繰り返すうちに、自然と落ち着きます。

自分が外出しないでいることは、それだけで社会の中で大きな役割を果たしたことになると思います。五感を使って自分の癒しの時間をつくりましょう。「今日一日よく頑張った！」と自分をほめてあげましょう。

ウェブでは悩みごと（DV含む）電話相談を始めます。

- ・ひとりで抱えこまず、まずはお電話ください。

電話相談日時：毎月第2・第4日曜日 13時～17時

電話番号：070-6478-7783/070-5457-7781

- ・お電話できない方はこちらのメールへ

wave_setagaya@yahoo.co.jp →



外出制限でDV急増 国連が警鐘 新型コロナウイルス

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、各国で外出制限が行われ、人々が家で過ごす時間が増えるなか、国連はDV＝ドメスティック・バイオレンスが急増していると警鐘を鳴らし、各国政府に対応を求めています。

女性の地位向上などを目指す国連の機関、UN Womenは4月6日に報告書を発表し、各国で外出制限が行われ、家で過ごす時間が増えることで、女性が夫などからDVを受けるケースが急増していると指摘しました。

UN Womenによりますと、フランスでは先月17日に外出制限が始まってからDV被害が30%増え、シンガポールではヘルプラインへの相談件数が33%増加したほか、アメリカやカナダ、イギリスなどでも被害の拡大を受けてシェルターを要望する声が高まっているということです。

一方、暴力をふるう相手が常に在宅しているため、女性が支援を求められないケースも相次ぎ、一時的にDVの相談が減っている地域もあります。

イタリアでは、女性が被害者支援サービスにアクセスできず、先月初めの2週間に寄せられた相談件数は55%減ったほか、フランス北部でも同様の傾向がみられたということです。

UN Womenは、被害が表に出ずに深刻化するおそれがあるとして、各国政府に対し電話だけでなく、ショートメッセージなどを通じて加害者に知られることなく相談できるオンラインの窓口を拡充したり、被害者のためのシェルターを確実に担保したりすることなどを求めています。

(2020/04/07 NHK ニュースWEBより)

新型コロナウイルス問題に伴うDVへの対応に関する
橋本内閣府特命担当大臣（男女共同参画）からのメッセージ

令和2年4月10日

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、外出自粛や休業などが行われている中、生活不安・ストレスにより、配偶者等からの暴力（DV）の増加や深刻化が懸念されております。

今月5日にアントニオ・グテーレス国連事務総長が発出したメッセージにおいても、DVの世界規模での急増について警鐘を鳴らしています。

DVを含め女性に対する暴力は、重大な人権侵害であり、いかなる状況にあっても、決して許されるものではありません。また、被害にあわれた方が、相談し、支援や保護を受けられることが必要です。

内閣府と厚生労働省は、今月3日、地方公共団体に対して、DVの相談対応から保護に至るまでの支援の継続的かつ迅速な対応を依頼しました。

また、DVに悩んでいる方が最寄りの配偶者暴力相談支援センターに相談できるよう、全国共通の相談ナビダイヤルを設けています。

電話番号は、0570-0-55210です。

夫婦の間で「暴力を振るわれている」「辛い」と感じたら、まずは、こちらに相談してください。

また、緊急の場合には、ためらわずに110番通報をしてください。

緊急に身の安全の確保が必要な場合には、全国の婦人相談所一時保護所等において、適切に保護を行う体制を整えていますので、婦人相談所又は配偶者暴力相談支援センターに相談してください。

さらに、今後のDVの深刻化に備えて相談窓口を拡充することを、4月7日に閣議決定した「緊急経済対策」に盛り込みました。

深夜・休日にも対応できる相談窓口の設置を行うとともに、家庭内で電話をしづらい環境にいる方も相談できるよう、SNSやメールによる相談を速やかに実施し、被害者支援体制の拡充を行ってまいります。また、新たな相談窓口についても、周知を図ります。

配偶者等からの暴力（DV）で不安を感じたら、一人で悩まず、相談窓口にご相談ください。また、周りで被害に困っている方がいる場合には、是非、この情報を共有していただき、一人でも多くの方が相談・支援につながるよう御協力をお願いします。

ウェーブカレンダー



ウェーブ分室
で開催



駒沢中学校「支えあ
いルーム」で開催

| | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-----|-----|--|--------------------------|--|--|-------------------------------------|---|
| 第1週 | | 10:15-11:45 歌声サロン 13:30-16:00 みどりがめ | 13:30-15:00 おもり体操 | 10:00-12:00 健康体操 14:00-16:00 編み物・書道 | 10:00-12:00 アンサンブル 14:00-16:00 手芸 | 10:00-12:00 俳句を楽しむ (地域デイ) | |
| | 第2週 | 10:15-11:45 どんぐり 13:30-16:00 みどりがめ | 13:30-15:00 おもり体操 | 10:00-12:00 健康体操/卓球 14:00-16:00 編み物・書道 | 10:00-12:00 三味線に ふれる会 14:00-16:00 手芸 | 10:00-12:00 初心者麻雀 (地域デイ) | |
| 第3週 | | 13:30-16:00 みどりがめ | 13:30-15:00 おもり体操 | 10:00-12:00 健康体操 14:00-16:00 編み物・書道 | 14:00-16:00 手芸 | 10:00-12:00 初心者麻雀 (地域デイ) | |
| | 第4週 | 10:15-11:45 どんぐり 13:30-16:00 みどりがめ | 13:30-15:00 おもり体操 | 10:00-12:00 健康体操/吹き矢 14:00-16:00 編み物・書道 | 14:00-16:00 手芸 | 10:00-12:00 書道 (地域デイ) | |
| 第5週 | | | 13:30-15:00 おもり体操 | 10:00-12:00 健康体操 14:00-16:00 編み物・書道 | 14:00-16:00 手芸 | 10:00-12:00 (地域デイ) | |



みどりがめ

これまでの「古切手の整理」と「ウェスづくり」に加えて、第1・3週は「健康麻雀」、第2・4週は「花絵」を行います。



カレー

350円



お楽しみ
定食

400円

夕食会

毎週火・木曜日の
17:00～18:00に開催。
18:00以降に食べたい方は、
17:00までにお電話を！

新型コロナウイルスと日常



中国武漢から始まった新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、たくさんの方が感染し、多くの命を奪っています。日本でも感染拡大が止まらず、非常事態宣言まで出されました。

最初はどこか他人事と思っていたことが、ある日一人の SNS でのつぶやきにより、あっという間に日常は激変します。人々は薬局やスーパーに長い列を作り、マスク、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、お米やカップ麺等々が、あっという間にお店から消えました。

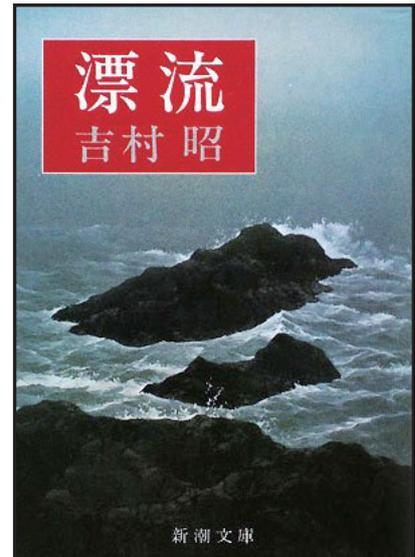
その後も、政府や有識者から不要不急の外出自粛等の呼びかけが続きましたが、感染拡大はとどまることがありません。人びとは見えない敵や、先が見えない自粛生活に不安を感じながら、毎日お店の前に列を作りました。

そんな光景を見ながら、こんな時に何が一番大事なのかを冷静に考えることが必要だと思いました。まずは自分の身を守り、そのうえで、自分の周りにはいる大切な人たちを守るために、自分にできることは何かを考え、それを周りの人たちと共有することが大切だと感じました。

どんな時もあわてず冷静に、そして希望をもって過ごしたいと思います。また近い将来、皆様と大きな声で笑っておしゃべりができる日がくることを願っています。 (K.S)

『漂流』

吉村昭 = 著 新潮文庫 昭和 55 年 12 月



土佐の水主（船乗り）長平たち 4 人の乗った船は、凶作の村へお助け米を運んだ帰りに大シケに遭う。激しい嵐に舵をもぎ取られ、帆柱も切り倒さざるを得ず、黒潮にのって漂流する。10 日以上海を漂い、岩だらけの無人島（伊豆諸島の鳥島）に流れ着いたのは天明 5（1785）年 2 月初めのことであった。

アホウドリの肉や海藻、貝などを食べながら、4 人は洞窟で暮らしはじめる。しかし、持病をもっていた水主頭のおやじの源右衛門が死に、残った 3 人も栄養の片寄りのせいおやじか衰弱してきた。そして、とうとう水主の音吉と、炊（炊事係）の甚兵衛の 2 人が相次いで死んでしまった。

長平は島に漂着して 1 年半のうちに、一人ぼっちになってしまった。「なぜおれ一人を残して死んでしまったのだ」。長平は突然声をあげて泣いたり、大声で人の名を呼んだり、念仏を唱えながら磯を歩き回ったり、アホウドリの群れの中に入り、石でたたき殺しては「すまぬ、すまぬ。おれの殺生を許してくれ」と泣くこともあった。

3 人の遺体が置いてある洞窟に行って、一日中傍らに坐っていることもあった。死んでしまいたいと海に入り、沖に向かっていったが、泳ぎのうまい長平は溺れ死ぬこともできなかった。鳥

たちは互いに鳴き交わしているが、長平には話しかける相手もない。淋しく、悲しみがこみ上げてくる。

島へ来てからのことを振り返ると、4人は自分たちの不運を嘆き、時折り話すことは昔話ばかり。その時は盛り上がるが、その後は誰もが黙り込む。気力が萎え、一日中洞窟の中で横になったまま過ごす。次第に体力も衰え、生きる意欲も失っていった。故郷では船共々帰って来ない4人は死んだものとされ、墓も作られているに違いない。

ある日長平は、美しい夕日の沈むのを見ながらつぶやいた。「生きてみるか……」。今まで沖に船影を見かけたことは一度もない。しかし、いつか助けられて故郷に帰れるかもしれぬ。それまでは体力を失わずに生き永らえていたい。自分だけ生き残ったのも神仏の御心によるものかもしれぬ。なるようにしかならぬのだから、お天道様を拝み神仏の御名を唱え、御心にお任せしよう。

毎日を規則正しく過ごし、できるだけ日の光を浴びながら体を動かさなければいけない。夏期には島から北方へ渡っていくアホウドリの干し肉を作ったり、船材から抜いた釘で釣針を作り魚釣りも試みた。島にいる数少ない生き物であるバツタを捕まえ、洞窟で飼ったりした。磯には日用道具のカケラなどが流れ着くこともあり、人間の匂いを懐かしく嗅いだりした。

島に漂着して3年ほどになる2月のはじめ、長平は一瞬信じられない物影を見る。

「人だ！」「それも大勢居る！」「確かに人だ、人だ！」

＊本書は史実を元にした物語である。その後にも難破船の漂流者が島にたどり着き、12年間島で暮らした後、長平は彼らと共に奇跡的に故郷に生還している。 (まとめ：元ボランティア 中山信孝)

ウェブ
俳句の会

花衣月も召したり宵小路

寂庵の垣にしだれる花すだれ

上杉 重子

硝子戸を伝う滴や春の雪

蛇崩れの小路鎮もる花の雨

岡部 紗椰子

今年また老の手作り雛飾る

花こぶし絵の具の白を集めいて

土井 きみ

雨晴れて花の気満つる宮居かな

春寒し赤鉛筆の削り屑

中島 喜久子

学び舎の閉校知るや春の雪

歌声のままならぬ日やさくら散る

中田 フミ子

ものの芽に今日の色ありほぐれあり

万華鏡ほぐれて春のページかな

原 幸子

休校の校庭広し春の雪

春愁や千鳥ヶ淵の石畳

樋口 正明

春風の行方聞き入る家籠り

咲き満ちて白き風呼ぶ雪柳

山本 欣子

早咲きの桜と雪の季の乱れ

ハーモニカ空しく吹くや早春賦

横溝 幸子

コンクリの割れ目にきらり葶草

閉じこもり灰色の明日春落葉

一宮 蓉子



コロナに感染した先生。

桜が終わり、ツツジやフジが見頃となってきました。さて、こちら四国愛媛県でも東京ほどではありませんが、毎日、「今日のコロナニュース」といわんばかりの報道が続いています。私自身は7軒14人の限界集落暮らしなので、コロナは全く心配していなかったのですが、とてもお世話になっている高校の先生が4月上旬に感染し、愛媛では大きなニュースになりました。3月後半に横浜に行き(家族に会うため)、そこで感染したようですが経路は不明です。他にも100人ほどの高校教諭が春休み期間中に東京大阪圏を往復したようですが、感染者は知りあいの先生だけで、運が悪いとしか言いようがありません。コロナ騒ぎがいつ収束するのかわかりませんが、人間の奢りを見直すきっかけになることを願っています。(みきねえ)

ウェブの会員になりませんか(会員登録のお願い)

■正会員：年会費3,000円

ウェブのサービスを利用したい方や、
ウェブの活動をスタッフと一緒に支えてくださる方

■賛助会員：年会費5,000円

時間や労働力の提供はできないけれど、資金面で支えてくださる方

■寄付：金額自由(随時受付)

会員にはならないけれど、応援したいと思ってくださる方

振込先はこちらです

郵便振込：00170-9-401564

[名義] コミュニティ・ネットワーク・ウェブ

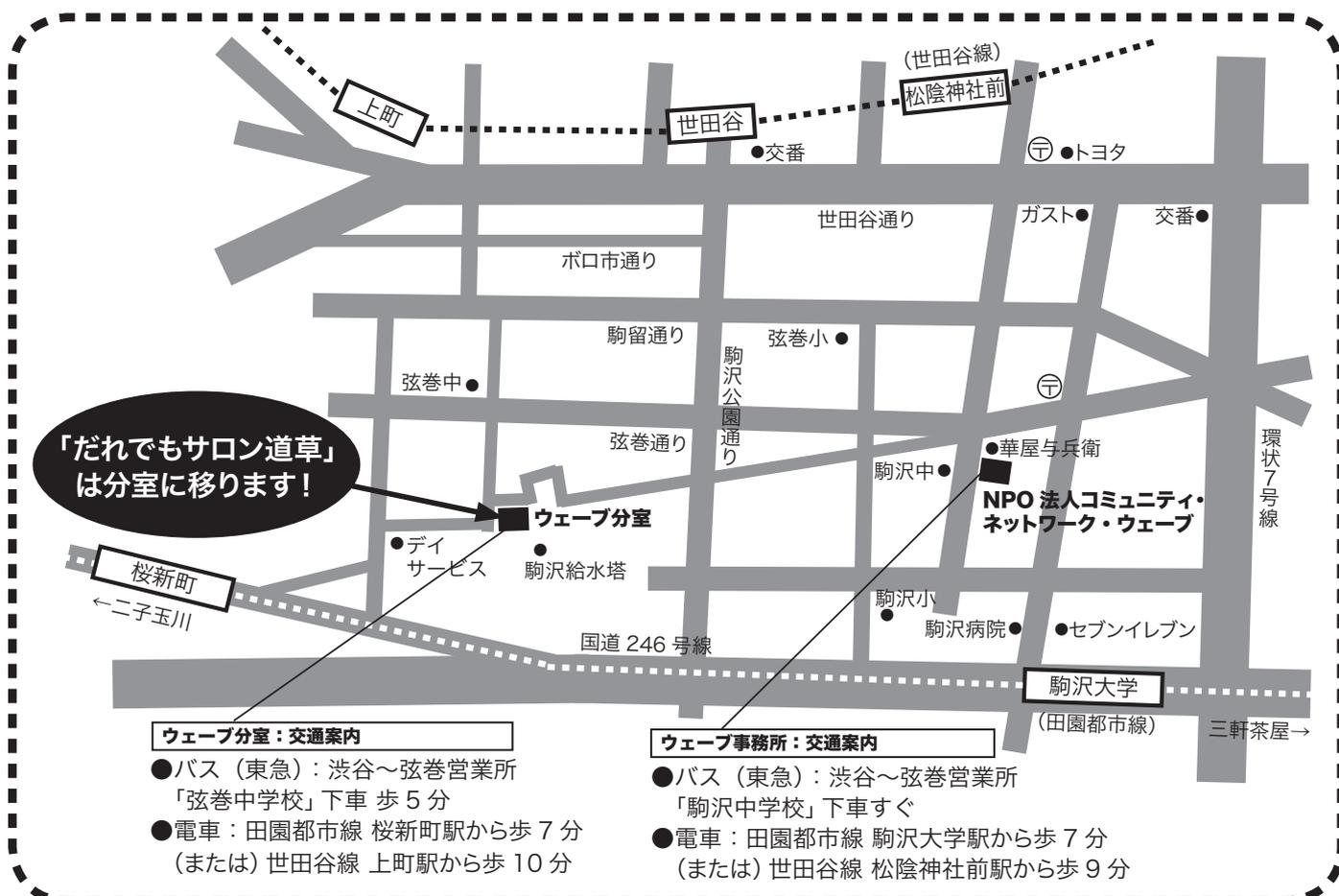
銀行振込：みずほ銀行 駒沢支店(普)2025583

[名義] 特定非営利活動法人コミュニティ・ネットワーク・ウェブ

ウェブ通信「おおなみこなみ」は、コミュニティ・ネットワーク・ウェブ(CNW)の活動を多くの方に知っていただくために、年4回発行しています。ボランティアさんや地域の方、ウェブを利用されている方などから記事をいただき、絵の好きな方から表紙やイラストを提供いただいています。ウェブは「地域」を見つめながら活動しています。地域のいろいろな声の発表の場として、みなさんに利用していただきたいと思っています。

NPO法人 コミュニティ・ネットワーク・ウェーブのご紹介

◎ NPO法人 コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ (CNW) は、障害のある人もない人も、高齢者も子どもも若者も、すべての人が家庭や地域の中で普通に日常生活を送り、支えあって暮らす社会 (ノーマライゼーション) の実現をめざして、1994年に設立されました。高齢者・障害者の支援をはじめ、差別や偏見による人権の問題、家庭内での暴力の問題、環境保護に関わるリサイクルなど、さまざまな問題に取り組み、その解決に向けて努力を重ねています。不安の多い世の中において、心のよりどころを求めている多くの人たちのオアシスになれることを願って活動しています。



ウェーブ分室 (だれでもサロン道草)

世田谷区弦巻2-39-11
tel:070-5457-7781

ウェーブ事務所 (介護事務所)

世田谷区駒沢2-43-9 駒沢サンハイム304
tel:03-5430-7781 (9:00~18:00)
fax:03-5430-7771 (いつでも可)

ウェーブ通信「おおなみこなみ」第92号

発行日: 2020年04月15日

発行所: NPO法人 コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ

154-0012 世田谷区駒沢2-43-9 駒沢サンハイム304

メール wave@ngo-npo.org ホームページ http://www.ngo-npo.org/wave/

編集協力 & デザイン: 宮本幹江 (時遊編集舎)